



八学大の図書館の「スポーツ本特集」。ホップなどで明るい雰囲気を出している＝5月

# 書を開きに まちへ出よう

## 学校図書館

# 学び深める心強い味方

大学生の学びをより深め、研究資料などを提供する「大学図書館」。八戸市内には八戸学院大（同市美保野）と八戸工業大（同市妙大開）に図書館があり、一般市民にも開放されている。看護系の資料を多く所蔵し、展示にも力を入れている八学大の図書館は、他の図書館の良いところを取

◆ホップで明るい雰囲気  
八学大の図書館は約16万冊を所蔵し、うち約7千冊は看護系の書籍や資料だ。同大の健康医療学部看護学科の学生は、看護師や保健師といった国家試験を目指す。勉強に励む。織戸浩事務室長は「常に最新の資料を取り入れるように努めている」と説明。同学科の卒業生や、看護師などを目指す市内の高校生も利用しているという。

## 八学大 雰囲気明るく、利用者倍増

スポーツを置くなど、雰囲気明るくなるよう工夫。織戸事務室長は「数年前までは暗い雰囲気、殺風景な図書館だった」と振り返る。そこで当時のスタッフは、16年度に約5万人と倍増した。利用者が本に親しみやすい環境づくりも心掛けていく。以前は小説はあまり入れていなかったが、本屋大賞の本を中心に積極的に取り入れ、展示している」と織戸事務室長。「小さい図書館だが、学生や一般の方に楽しんでもらえれば」と思いを込める。

■日曜日企画

一般利用者は利用カードを作れば、図書3冊まで2週間借りられる。貸し出し中の圖書の予約もできるほか、事前の連絡で圖書の取り置きも可能。開館時間は、月曜から木曜までが午前8時40分～午後7時（金曜は同8時）。土曜、日曜や祝日などは休館日となっている。